

「瞳は未来に」新潟県議会議員 尾身孝昭

あけましておめでとうございます。

昨年の県政は前知事の突然の辞任で混乱しましたが、皆様のご支援により花角英世新知事誕生で国との関係も落ち着き安心・安定を取り戻しました。

昨年の漢字「災」に代表されます様に、全国的に豪雪、豪雨、猛暑、地震等大きな自然災害が頻繁に起こり、命に危険がある一つの災害級とまで気象庁が発表した暑さで当地域も水不足により農作物に大きな影響が出て、抜本的な水対策を検討してまいります。

地球温暖化は少子化問題と共に国を挙げての課題として取組んで行かなければなりません。

40年以上続いたコメの生産調整(減反)が昨年廃止され歴史的転換となりコメ余りが心配されましたが、県の指標もあり大きな混乱はありませんでした。また、昨年暮れに**中国への新潟県産米の輸出停止の解除**は吉報でしたがコメの消費量が減少する中、山間地域を抱える当地においては最高級の魚沼産コシヒカリのブランドに見合った品質と価格での販売に努めていかなければなりません。

「命と学びは平等」の下に、**新十日町病院は来年秋**に県立病院では初の地下駐車場を完備した病院が開院し、また定員40人で3ヶ年の**県立十日町看護学校も来年4月に開学**致します。魚沼基幹病院を核に十日町病院を中心として県立松代病院、町立津南病院、中条第二病院及び開業医・診療所と連携して安心して暮らせる医療環境を整えてまいります。

昨年は**県立川西高等特別支援学校が本校**として開校し、卒業後の就職を見据えて中学生も一緒に学べる6年間の職業訓練も視野に入れた学校にしてまいります。

県は今年4月から現在の産業労働・観光部内の観光部門を独立して新たに**観光局**を開設します。当地においても昨年開催された第七回大地の芸術祭は過去最多の入込み客となり、インバウンドも含めこれからの観光事業に力を入れてまいります。

「雪国観光圏」でも連携している群馬県・長野県との**上信越三県トライネット構想**の下に、空港や港湾など新潟県の強みを活かし、北信地域との更なる連携により広域的な政策課題等に対応していくため、引き続き情報の共有と意見交換を行ってまいります。

雪に強い**飯山線**と共に、**上越魚沼地域振興快速道路十日町道路**(八箇峠トンネルから十日町インターを含む吉田地域まで)の整備や、国道353号線**十二峠新トンネルの開削**に向けて活動を続けてまいります。県道十日町当間塩沢線当間トンネルも昨年12月に供用開始となり大沢トンネル効果が更に発揮され、長野県からの玄関口であります国道117号線津南町地内の**新灰雨トンネル**も来年暮れの工事契約に向け進んでおります。

地域振興は産業の発展であり、地方の景気回復に向けこれからも力を入れてまいります。

平成最後の新年を迎え、5月1日からは新元号となり新しい時代の到来にひとつ先を見つめ本年も皆様にとりまして元気に輝く素晴らしい一年となりますことを御祈念申し上げます。